

ロボコンに出よう!

aka

2006 年度 数理情報学科 基礎セミナー
国際大学対抗プログラミングコンテスト参戦計画!
樋口三郎¹ (定員 9 名)



得意不得意は問わず、プログラミング好きな人にお奨めする基礎セミナーです。気になる人はいつでも話聞きに来てね。

これって何?

3人チームで制限時間内に問題を解く有名なコンテスト ICPC です。世界最大の科学コンピューティング学会 ACM (the Association for Computing Machinery) が主催し、IBM など多くの企業が協賛しています。出題される問題はかなり数理の学生向き。国内予選、アジア地区予選を経て、世界大会に出場をめざします。旅費はスポンサー持ちなので、無料でリゾート地に旅行できちゃいます。参戦経験は就職の際にも評価されるはず。また、基本情報技術者試験の午後問題の対策にもなります。ちなみに2004,2005年には、数理チームは2位差で惜しくもアジア地区予選進出を逃しています。参加することに意義がある人も歓迎。

授業ののり

必要と希望に応じて、基礎事項の解説、過去問を使った問題練習、模範解答を検討するプログラム解読などを行います。プログラミング言語は C または Java または C++ のうち、好きなものが使えます。直前の予行演習や予選、本大会出場の際には、授業時間内に収まらないけど許してね。

スケジュール

2005 年の場合を参考に書いてます。

6月17日ごろチーム登録 チーム(選手3名+コーチ1名)の登録を行います。

7月1日ごろ国内予選 瀬田学舎内の実験室/実習室から、インターネット経由で国内予選に参加します。好成绩を収めると、次のアジア地区予選に進出できます。

11月03日ごろアジア地区予選 国内のどこかの大学(今回は東京工科大学)で行われるアジア地区予選に参加します。(実際に予選会場に旅行します。旅費、滞在費は開催者持ちなので無料)。好成绩を収めると、次の世界大会に進出できます。

4月9日ごろ世界大会 世界のどこかの大学(今回は Texas)で行われる世界大会に参加します。(実際に大会会場に旅行します。旅費、滞在費は開催者持ちなので無料)。

参考

- 理工ジャーナル Vol 17-3(2005)p.63-66 に参戦記が載ってます。
- <http://www.acm-japan.org/icpc-j.html> ACM 日本支部のページ。過去に出題された問題などが見られます。
- <http://www.teu.ac.jp/icpc/jp/> 2005 年度 アジア地区予選 東京大会のページ。大会の様子や、実際に出題された問題が見られます。
- Google などで、ACM ICPC などをキーワードに検索してみるといいでしょう。

¹Copyright ©2005,2006 Saburo HIGUCHI. All rights reserved.

¹部屋: 1-502, 実験室: 1-539, <http://hig3.net/> (携帯対応). hig@math.ryukoku.ac.jp